

校長	教頭	教頭

国語科 2年〔文学国語〕 シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
文学国語	2単位(70時間)	第2学年	大修館書店『新編 文学国語』
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		

学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
2 年 次	1 学 期	4	【I】 1 明日をひらく	3	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
		5	そとみとなかみ	3	【知・技】 (1)ア (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ・「外側と内側」のように物事を比較してとらえ、認識を深める。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
			【書く】言葉でスケッチ ①一言で心をつかもう	1	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A(1)ア	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品	
			【書く】言葉でスケッチ ②魅力を言葉で表そう	1	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A(1)ア	・ものの魅力を伝える言葉を探し、語彙を豊かにする。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品	
			2 小説を楽しむ (一)	6	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・場面の設定のしかたをとおして登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することとおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
			7	晴れた空の下で	4	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。 ・語句のはたらきに注目して読む。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することとおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		古典の世界1	星取り	1	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・話のおもしろさをとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むこととおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
			児の飴食ひたること	3	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・話のおもしろさと教訓をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むこととおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	2 学 期	9	恋のうた	現代の恋／近代の恋	2	【知・技】 (1)ウ (2)ア 【思・判・表】 B(1)オ	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] ・文学的な文章を読むこととおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係性をふまえ、作品の解釈を深めている。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩歌を読むことに興味をもち、それらの形式や表現の特徴をふまえながらそれぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			3 詩を味わう	小景異情	1	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
				永訣の朝	2	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
			コスモス	1	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	10	4	名作を読む	山月記	8	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ウ	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			古典の世界2	かぐや姫の昇天	2	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・かぐや姫の心情とその変化を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
				月やあらぬ	3	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・男が月を見て感じた心情を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	11	5	社会に生きる	神去なあなあ日常	4	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、仕事や自然に対する描写を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
				鞆	3	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)エ	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取ろうとしたり考えを深めたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	12			その日東京駅五時二十五分発	4	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)オ	・心情や情景描写に注意して読む。 ・「ぼく」が戦争についてどのように感じ、考えているかを読み取る。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を理解したり作品の背景について考えを深めたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
3	1		読書の広場	鉄道員	1	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		6	表現を味わう	身内ほど厄介なものはない	2	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)ア	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、身の回りのことに当てはめながら筆者の主張を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
				柿	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)イ	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、文章の構成や表現の工夫について考えながら読み味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	2			ぼくのお母さん	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)イ	・様々な文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、文章の構成や表現の工夫について考えながら読み味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
				【書く】思いを言葉に ①エッセイを書こう	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。[A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品
				【書く】思いを言葉に ②手紙を書こう	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・特定の読み手を想定し、手紙の形式で言葉を贈る。 ・読み手と自分の関係に注意して、相手に応じた内容や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。[A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品
	3		古典の世界3	はしたなきもの	1	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の感性をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
			手のわろき人の		【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の考え方をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			行く河の流れ	2	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分の身の回りのできごとと比較しながら作者の考え方をとらえようとして	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

計 70